

歴史に「石」！西行・芭蕉に並ぶ紀行家



菅江真澄が松山に来てたあ！

すがえ ますみ

「写生画から分かった新事実、
220年前大瀬渡りは舟橋だった」

演題：「舟橋、熱いまなざしー真澄が松川を訪れた？」

講師：奥州市立えさし郷土文化館長 相原康二氏

日時：平成22年3月27日（土）午後1時開場

会場：澤口酒店(縄文街道認定里の駅)コミュニティスペース
(電話0195-7612773、八幡平市大更2-9-1)

講演：午前1時30分～午後3時

現地見学会：3時～4時(講演会終了後)案内、徒歩3分

※悪天候の場合は中止

参加費：無料、定員：先着40名(申込要)

申込先：NPO法人風景の生命を守る地域づくりネットワーク

電話090-5592-3872 又はEメール info@fukui-net.jp

※法人ホームページからでもアクセスできます。

講師プロフィール

相原康二(あいはら・こうじ)氏

1943年生れ、旧江刺市岩屋堂出身。東北
大学文学部(国史学科考古学専攻)卒。

県立博物館学芸部長、県立図書館長等を歴
任して退職。2004年より財団法人岩手県

文化振興事業団埋蔵文化財センター所長、
2009年よりえさし郷土文化館長。著書に

「日本歴史地名大系3岩手県の地名」等。



旧津軽(鹿角)街道
松川大瀬(おせ)渡り

絵・小田ひで次

主催：NPO法人 風景の生命を守る地域づくりネットワーク
共催：八幡平市、八幡平市教育委員会、(社)八幡平市観光協会
後援：(財)岩手県文化振興事業団 岩手県立博物館・埋蔵文化財センター